

# 市長との約束 2022



私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

総務部長兼政策推進監

赤間 幸人

約束内容	人財育成の推進と人事運用の見直し
達成目標	<p>人材育成基本方針に掲げた「目指す職員の姿・職場の姿」の実現に向けた取り組みを計画的に進めると同時に、定年引上げに伴う手続きと運用等について調査・研究し、円滑に移行作業を進めます。</p> <p>①人材育成アクションプランを年度内に策定 ②段階的な定年引上げを踏まえた運用方針（定年前再任用短時間勤務及び役職定年制含む）の作成</p>
達成度	A 達成目標を上回る ★★★★★☆
達成状況	<p>人材育成アクションプランを予定通り作成することができた。本プランについては、数値目標や実施時期等について定めた部分は少ないものの、人材育成基本方針から導き出せる56項目を示し、それぞれに目的・内容・今後の方針を明らかにすることにより、わかりやすさに配慮した。今後は職員に周知を図り、本プランを推進するとともに資格取得のインセンティブや専門知識の習得機会等の確保に努める。また、定年引上げに係る条例を制定したことから円滑な運営に取り組む。</p>

約束内容	自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進
達成目標	<p>デジタル技術を活用し、「市民の利便性の向上」と「行政運営の効率化」さらに「安全安心な暮らし」を実現するための取り組みを加速します。</p> <p>①現在の事務事業に対する、デジタル導入の方策（オンライン申請やデータ処理と情報周知の自動化等）やアウトソーシングについての調査・検討及び次年度（デジタル戦略課・情報政策担当）への基盤の構築 ②円滑なシステムリプレイス（内部情報系システムと住民情報系システムの更新）</p>
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★☆
達成状況	<p>デジタル化を推進するにあたり、BPR（抜本的な業務改革）調査を行って、幼児教育・保育無償業務の実証実験（オンライン申請やデータ処理等）を行っている。また、基礎的な知識の習得のためデジタルトランスフォーメーション研修（セキュリティ対策含む）を今年度においても継続して実施している。なお、システムリプレイス（内部情報系）については大きな混乱もなく移行することができた。今後はデジタル技術を用いた事務効率や住民サービスの向上に関して企画・立案ができる職員が必要となることから、政策アドバイザーを登用しながら進める。</p>

約束内容	広報広聴機能の拡充
達成目標	<p>本市の情報を発信する役割はもとより、市民の声を集めるなど、双方向のコミュニケーションづくりに取り組みます。</p> <p>①新庁舎の配置案内と組織機構の変更に伴う各部署の業務内容をお知らせするための市民便利帳の発行</p> <p>②コロナ禍であっても出来るだけ広聴する機会の設定</p>
達成度	<p><b>B 概ね目標どおり達成 ★★★★★</b></p>
達成状況	<p>市民便利帳については、順調に進んでおり、5月8日の新庁舎開庁までには全戸配布（ポスティング）できる予定である。また、市民への情報発信や双方向のコミュニケーションについては、市長への手紙の一部公表化について過去2カ年分を掲載することで準備を進めている。さらに、令和5年度からソーシャルネットワークサービスの機能向上を図るべく、各課に選任職員を配置するとともに専用回線を敷設する。防災情報のデジタル化についても調査・研究を行い、現在のメールサービスとラインアプリや総合防災システムを連携付けする方向で協議を進めている。</p>